

海陽町における 防災の取り組みに ついて ～災害に強いまちづくり の実現に向けて～

海陽町 建設防災課
2025年8月5日



海陽町で起こりうる災害について

海陽町では、過去に大雨、台風、地震、津波などの自然災害による被害が発生しています。

特に平成26年の台風11号・12号では、住宅約300棟が浸水し、各地で土砂災害や道路の冠水による通行止めが発生しました。

また、昭和21年の南海地震では、地震発生から約10分後に最大5メートルの津波が到達し、85名の犠牲者が出ました。

現在の南海トラフ地震被害想定では、最大18メートルの津波が予想されています。





大雨で冠水した道路



家の壁を突きやぶった土砂



山際まで来た津波でつぶれた家（浅川地区）

海陽町では、さまざまな災害から
町と住民の命を守るために、
日頃から多くの防災対策に取り組
んでいます。

町の主な取り組みについて
ご紹介します。



津波避難場所・備蓄倉庫

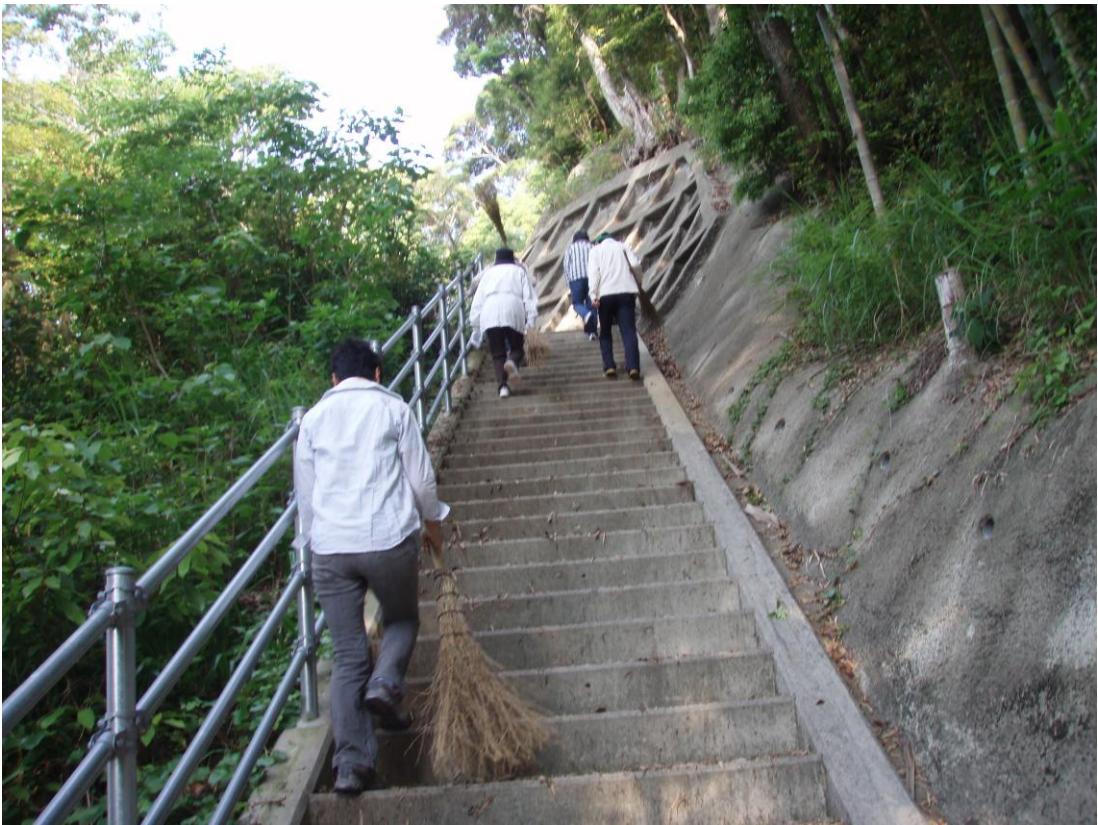
海陽町では町内各所に津波避難場所および避難路を整備しています。

避難場所の近隣には倉庫を設置し、発電機・テント・簡易トイレ等の資機材を備蓄しています。

津波の再来を想定し、避難が長時間に及ぶ場合に備えて、地域住民と連携しながら備蓄運用体制を整えています。



津波避難場所・備蓄倉庫



津波避難場所・備蓄倉庫



防災用備蓄品

避難所生活を支えるため、町有施設・学校・倉庫に水・食料・毛布・段ボールベッド等を備蓄しています。

必要最小限の生活用品を確保することで、混乱のなかでも安心・安全な避難所運営が可能となります。



防災のしおり・ハザードマップ[®]

防災のしおりには、災害の種類ごとの備えや避難行動の基本が記載されています。

付属のハザードマップでは、津波浸水想定区域や土砂災害警戒区域、避難所・避難場所等の位置が示されています。



防災訓練・講演会、ワークショップ

毎年度、地域と連携した防災訓練やワークショップを定期的に実施しています。

- ・津波避難訓練（迅速な避難行動の習得）
- ・避難所運営訓練（福祉避難所運営含む）
- ・防災学習（防災ゲーム・意見交換型ワークショップ等）



資機材

災害対応力の向上のため、重機・ドローン・救助ボート等の資機材を整備しています。



資機材

操作に必要な資格の取得や、定期的な訓練も実施し、職員の対応力強化を図っています。



資機材

今年度は国の交付金を活用し、トイレ・シャワーに関する機材や、浄水機、可搬型蓄電池、衛星通信設備スターリングなどを購入し、各拠点に配備予定です。



南部防災館

南部防災館は、徳島県との協定により海陽町が管理・運営する施設です。

平時は防災学習施設として活用され、災害発生時には南部地域の防災拠点として機能します。

消防・自衛隊・警察などの広域支援の受け入れ拠点としての役割も担います。

職員研修や講演会など、各種実施しております！





海陽町では、「逃げ遅れゼロ」を目指し、施設職員の皆さんと協働して防災力を高めていきたいと考えております。
ご清聴ありがとうございました。
引き続きよろしくお願ひいたします。

